

K・K・メンネルコール(小平界限男声合唱団)について

K・K・メンネルコールは1993年に結成され、小平市を中心として活動している男声合唱団です。2005年より指揮・発声指導をしていただいて現役のテノール歌手の下村雅人先生と、ピアノ伴奏をしていただいている松行美左子先生のご指導のもとで、クラシックから日本歌曲、ポピュラーまで幅広く男声合唱を楽しんでいます。前回の定期演奏会をきっかけとして団員数は40名を超え、80歳代から現役世代まで年齢層は幅広く合唱経験も様々ですが、練習を重ねステージを経験するにつれて皆男声合唱の虜になり、“現在第二の青春真っ只中”です。

主な活動としては、毎週木曜日に定例の練習、ルネこだいらで行われる定期演奏会・小平市合唱祭での演奏・西武沿線男声合唱団交歓演奏会・毎年小平中央公民館で行われる東日本大震災復興支援チャリティー演奏、そして地域の諸施設でのボランティア演奏等を行っております。

K・K・メンネルコールの特徴は、“KKサウンド”と言われていますが、下村先生の本格的な発声練習のもとで鍛えられた重厚な響きです。親父達が包み込む優雅で迫力のある男声合唱をお楽しみください。



下村 雅人(しもむら まさひと) 指揮

イタリア声楽コンクールソ金賞、日伊声楽コンクールソ入賞、飯塚新人音楽コンクール優秀賞。モーツァルト「魔笛」にてオペラデビュー、以後ヴェルディ「椿姫」アルフレード、プッチーニ「ボエーム」ロドルフォなど数々のオペラに出演。また、山口あきら氏(演出)の協力のもと、リサイタルにバレエを共演させ新しい表現の演奏会として好評を得る。オーケストラ・アンサンブル金沢とヘンデル作曲「メサイア」で共演するなど宗教曲のテノール・ソリストとしても幅広く活躍する。近年は、毎夏長野の松本で催されるサイトウ・キネン・フェスティバルにも定期的に出演。現在では、様々なスタイルのオペラやコンサートの構成・演出・出演と幅広く活動をする。

2011年東日本大震災において、震災後逸早く音楽家へ発信し「小平チャリティーコンサート」発起人となり11年4月1日・7月30日、12年3月4日、14年3月16日、15年3月15日、16年3月13日、17年3月12日と息の長い被災地支援を続けている。

二期会会員・日本演奏連盟会員 (^ v ^)乙女座A型



松行 美左子(まつゆき みさこ) ピアノ

フェリス学院大学音楽学部ピアノ科卒業。馬島瑞枝、手塚敏子両氏に師事。伴奏法をヘルムート・ドイッチュ氏、ダルトン・ポールドウィン氏に師事。

卒業後、プロ合唱団「日本女声合唱団」の専属ピアニストとなり、国内及び海外各地で演奏。その後、二期会オペラスタジオピアニストとなり、鮫島有美子氏をはじめ、数多くの声楽家、合唱団の伴奏ピアニストとしてコンサート、TV出演、CD録音等で活躍。

「音楽の次にチョコレートがだい好き！」

